



恐竜むかわ竜全身復元骨格製作へ



実物化石を布の上に並べたむかわ竜

むかわ町は、むかわ竜のレプリカ製作と全身復元骨格製作をはじめます。実物の骨化石も組み込んだ形の全身復元骨格を作るために、まずはレプリカで全身を組み立て、可能な限り実物化石も組み込めるような骨組みを作る予定です。

この復元骨格は、2021年に予定されている穂別博物館リニューアル（詳細は未定）にあわせて製作する計画でしたが、国立科学博物館などが主催する「恐竜博 2019（東京・上野）」で展示する予定になったため、製作を早めました。2019年の夏にむかわ竜全身復元がお披露目される予定です。

穂別博物館ボランティア募集

ボランティア活動をご希望の方は、博物館までお問い合わせください。具体的な活動内容について説明します。

- (1) 化石クリーニング補助（若干名）
- (2) 化石レプリカ制作補助（若干名）
- (3) 収蔵資料整理補助（若干名）
- (4) 野外調査作業補助
- (5) 体験活動（恐竜デーなどのイベント）補助（冬季に研修、来年4月以降に活動）
- (6) 展示解説補助（冬季に研修、来年4月以降に活動）

むかわ町天然記念物紹介

メソダーモケリス・ウンデュラータス

(むかわ町文化財第 6 号)



メソダーモケリス・ウンデュラータス

(*Mesodermochelys undulatus*)

(HMG-0005) の背甲



メソダーモケリス・ウンデュラー
タスの全身復元模型

1996 年にオサガメ科の新属新種として発表された * 白亜紀後期のウミガメです。新種の根拠となる唯一の標本；ホロタイプは 1980 年に穂別在住の石崎正行氏・荒木新太郎氏によって発見・採集されました。

この種類はむかわ町穂別、淡路島、香川県から発見されています。この中で、むかわ町穂別からは、全体の 8 割以上に当たる 33 個体のメソダーモケリス・ウンデュラータス標本が発見されていて、頭骨を除く全身の骨化石が産出しています。

現在生きているウミガメ類は汎世界的に分布しますが、メソダーモケリスは日本周辺からしか産出していないので、当時と現在の動物群の分布域変遷を考える上で重要な化石です。

* 発表論文：Hirayama, R. and Chitoku, T., 1996, Family Dermochelyidae (Superfamily Chelonioidae) from the Upper Cretaceous of North Japan. Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, no. 184, p.597—662.

学芸員 西村智弘



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人 / 小～高校生：100 円

大人 300 円

団体 / 小～高校生：50 円

大人 200 円

※団体は 10 人以上 ※小学生未満は無料

2017 年 11 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2017 年 12 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 〇 町民無料観覧日